

# 2018年度 第1四半期 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	正孔輸送材料、電子輸送材料、発光材料
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、インクジェットプリンター用染料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業

## 第1四半期累計

単位：百万円  
表示：百万円未満切捨

連 結	2017年度	2018年度	前年同期比
売 上 高	9,720	8,553	▲ 1,166
営 業 利 益	1,303	615	▲ 688
経 常 利 益	1,341	798	▲ 542
親会社株主に帰属する 当期純利益	772	542	▲ 229

為替レート

\$=111.42円  
W=0.0984円

\$=109.53円  
W=0.1004円

\$=ドル  
W=韓国ウォン

- **売上高**は、各セグメントで減少し、  
1,166百万円の**減収**
- **営業利益**は、売上高の減少により、  
688百万円の**減益**
- **経常利益**は、為替差益等の発生があったものの、  
営業利益の減少により、542百万円の**減益**
- **親会社株主に帰属する当期純利益**は、  
経常利益が減少したものの、  
非支配株主に帰属する当期純利益が減少(利益要因)した  
ことにより、229百万円の**減益**に留まる

(単位:億円)

科目	2018年 3月末	2018年 6月末	増減
(流動資産)	250	241	▲8
現預金	67	65	▲1
売上債権	123	110	▲12
棚卸資産	56	61	+4
その他	4	4	+0
(固定資産)	296	294	▲1
有形・無形 固定資産	201	203	+1
投資有価証券	82	78	▲3
その他	12	13	+0
合計	547	536	▲10

科目	2018年 3月末	2018年 6月末	増減
(負債)	188	177	▲11
仕入債務	55	49	▲5
有利子負債	74	70	▲3
その他	59	56	▲2
(純資産)	358	359	+0
資本金	111	111	—
資本剰余金	87	87	+0
利益剰余金	84	87	+3
その他	75	72	▲2
合計	547	536	▲10

## 財務指標

- ・自己資本比率 60.8% ⇒ 62.1%
- ・D/Eレシオ 0.22倍 ⇒ 0.21倍

有利子負債 74億円 ⇒ 70億円

## 第1四半期累計

単位：百万円  
 表示：百万円未満切捨

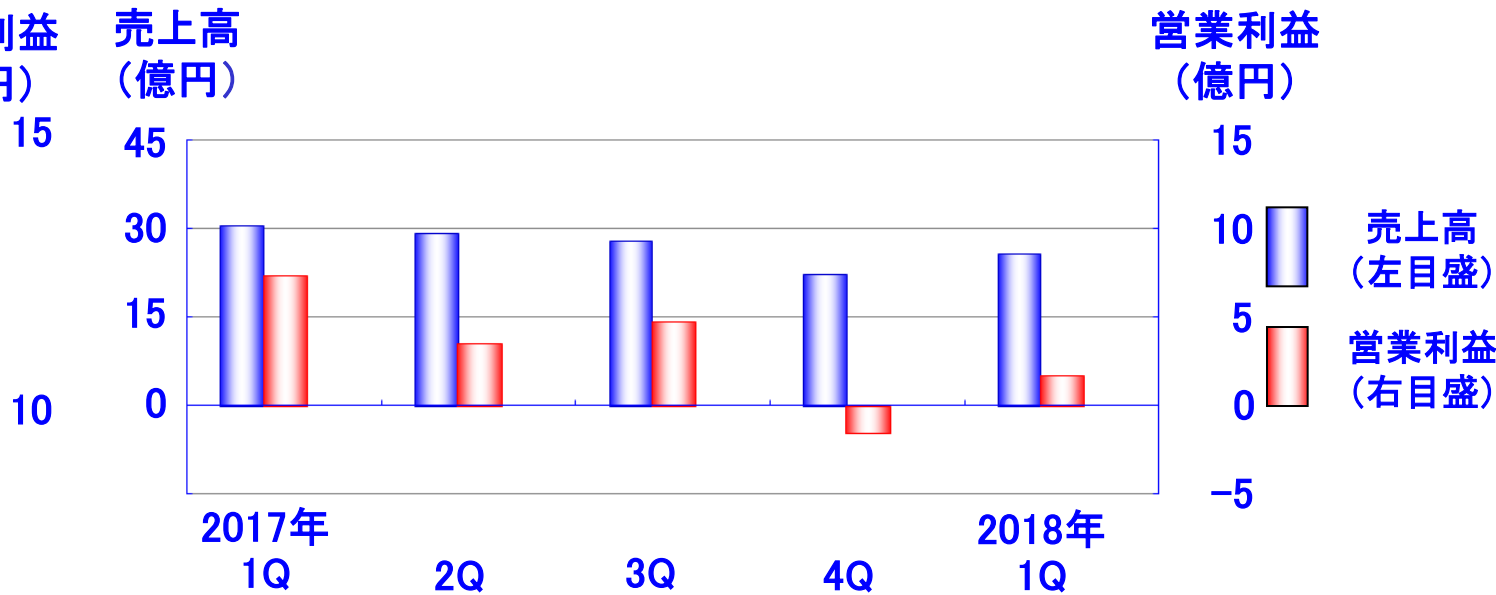
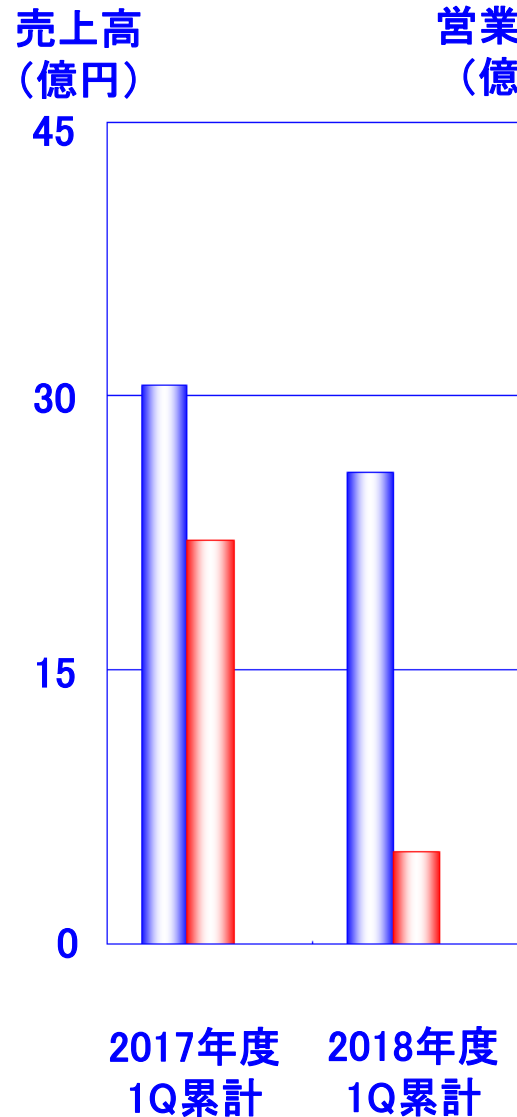
セグメント	2017年度	2018年度	前年同期比
機 能 性 色 素	3,061	2,584	▲ 476
機 能 性 樹 脂	2,983	2,783	▲ 199
基 礎 化 学 品	1,739	1,668	▲ 71
アグロサイエンス	972	968	▲ 4
物 流 関 連	926	517	▲ 409
そ の 他	36	32	▲ 4
合 計	9,720	8,553	▲ 1,166

第1四半期累計

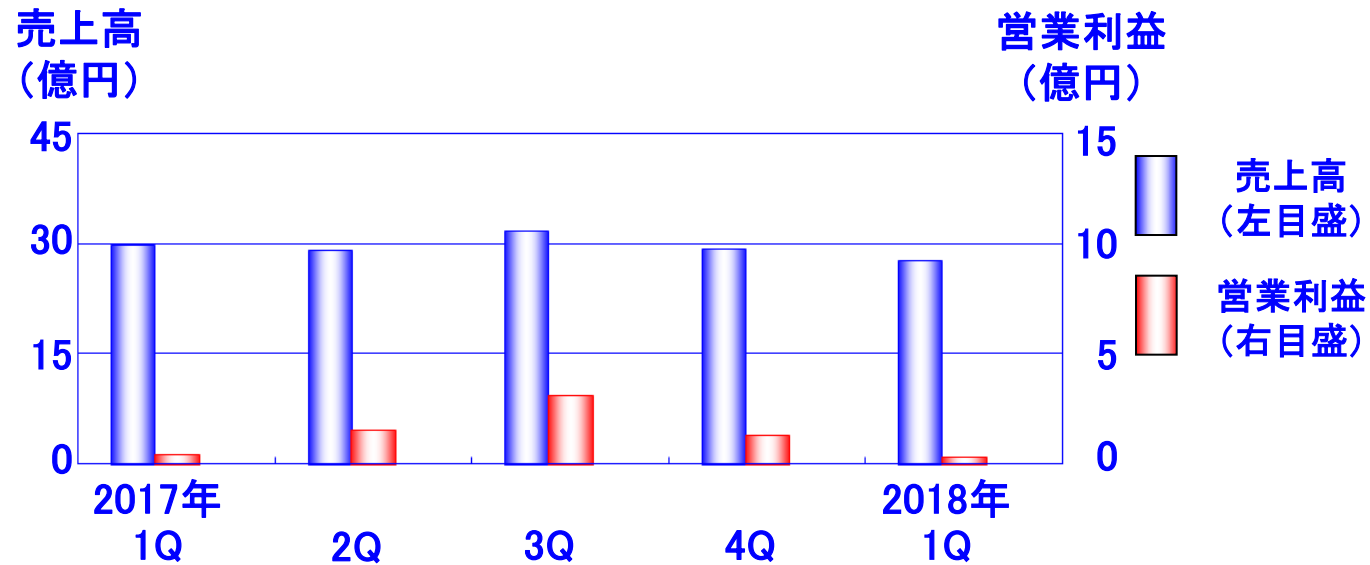
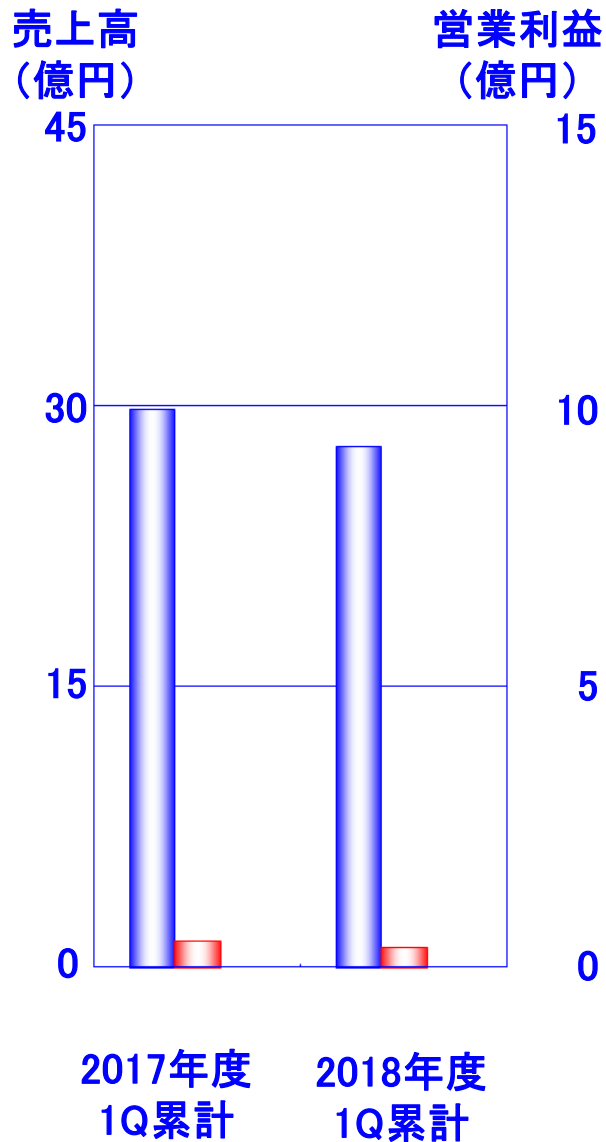
単位：百万円  
表示：百万円未満切捨

セグメント	2017年度	2018年度	前年同期比
機能性色素	738	170	▲ 568
機能性樹脂	47	35	▲ 11
基礎化学品	266	191	▲ 75
アグロサイエンス	60	102	+ 42
物流関連	204	116	▲ 88
その他	▲ 14	0	+ 15
合計	1,303	615	▲ 688





イメージング材料	・プリンター向けで需要低迷が継続しており、前年同期並み	➡
有機EL材料	・ディスプレイ分野での需要の減少により、減収	➡
色素材料	・デジタル家電向けアルミ着色用染料が、引き続き好調に推移	➡



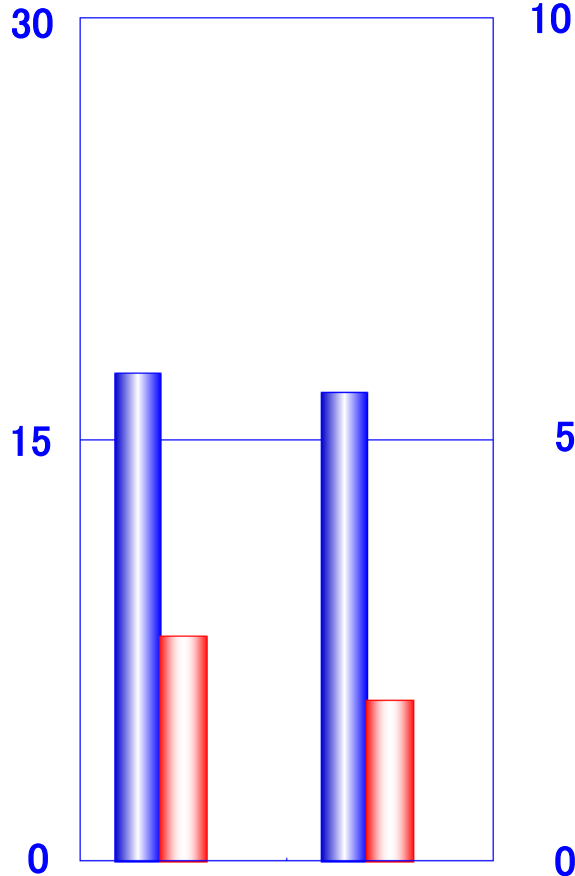
樹脂材料	・ウレタン原料やタイヤ用途向けの材料が堅調に推移し、前年同期並み	➡
建築材料	・防水工事の受注減少により、減収	➡
特殊化学品	・医薬品向けで需要が減少し、減収	➡

売上高  
(億円)

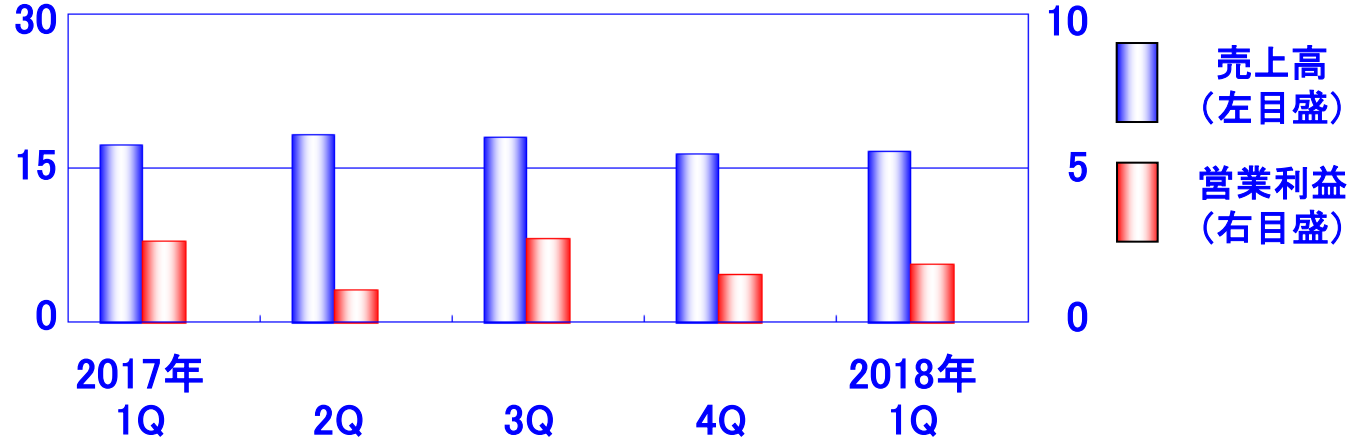
営業利益  
(億円)

売上高  
(億円)

営業利益  
(億円)



2017年度 1Q累計    2018年度 1Q累計



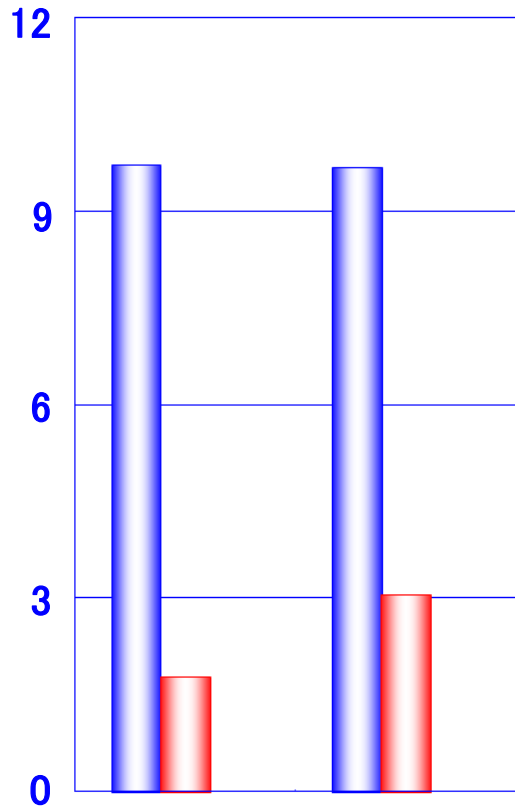
過酸化水素    ・紙パルプおよび環境分野向け等の需要が減少し、減収

売上高  
(億円)

営業利益  
(億円)

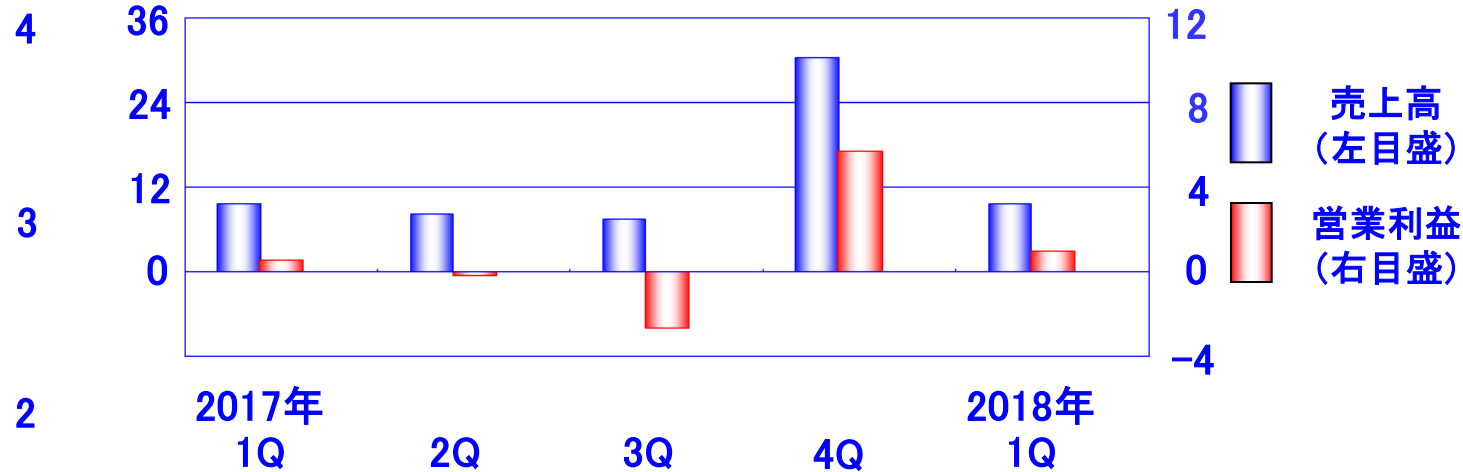
売上高  
(億円)

営業利益  
(億円)



2017年度  
1Q累計

2018年度  
1Q累計



アグロサイエンス

- ・家庭園芸向け除草剤等は需要が増加し増収となったものの、殺虫剤は一時的な在庫調整により、減収

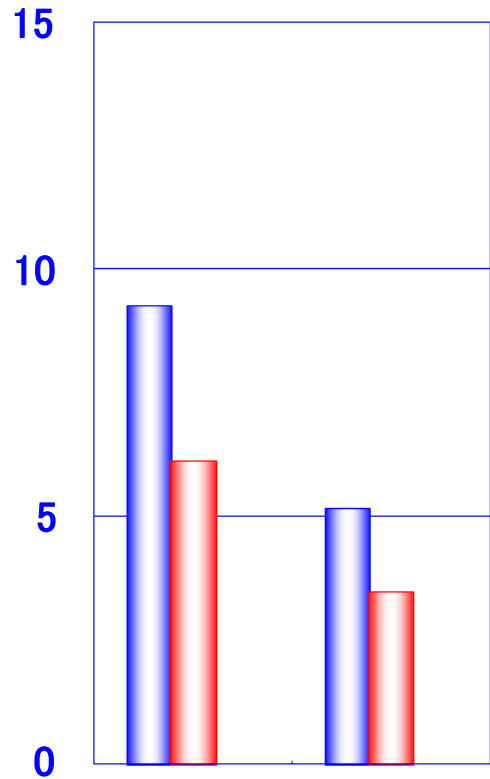


売上高  
(億円)

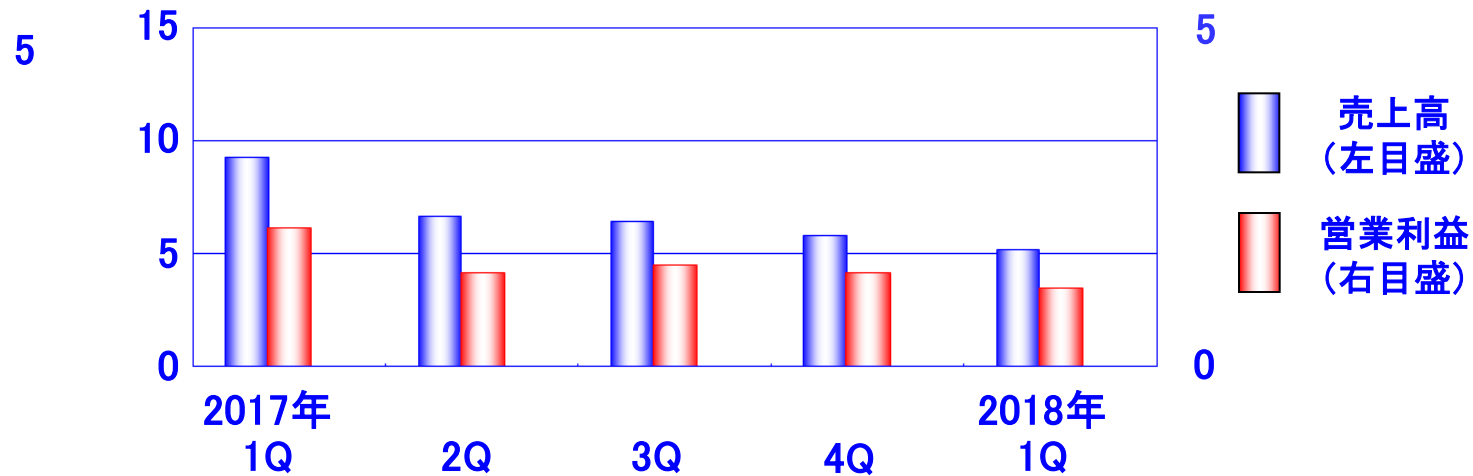
営業利益  
(億円)

売上高  
(億円)

営業利益  
(億円)



2017年度 1Q累計    2018年度 1Q累計



物流関連    ・輸出の取り扱い量や、倉庫保管量の減少により、減収